学校番号	413

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版現代文Ｂ」　（数研出版　現３３３）						
副教材等	「頻度順　入試漢字の総練習　改訂版」（株式会社三省堂） 改訂版　テーマ詳説　現代評論選（数研出版株式会社） 改訂版　テーマ詳説　現代評論選　準拠ノート（数研出版株式会社） 新成現代文　大学入学共通テスト対策版（尚文出版株式会社） 新版四訂　新訂総合国語便覧（教育図書出版　第一学習社） 新訂総合国語便覧　準拠ノート　＜新版＞（教育図書出版　第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業ばかりでなく普段の生活の中でも語彙を豊かにするよう努める。近現代の著作に親しむことで、考える力・表現する力を身につけることが期待できる。その際、自分の視点からばかりでなく、他者の視点からも物事を見るよう心がけたい。さらに、そのようにして深めた自分の考えを言語化するよう努めるとよい。

２　学習の到達目標

・文章を読んで、構成、展開、要旨、情景、心情の描写などを的確にとらえることができる。
・文章を読み、批評することを通して、人間、社会、自然などについての自分の考えを深めたり、発展させたりしていくことができる。
・人間関係における様々な場に応じて、互いを尊重し、相互理解を深め、考えを伝え合うことができる。
・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現できる。
・語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色を捉え、自分の表現に役立てることができる。
・積極的に学習計画を立て主体的に読書をする習慣を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったり、異なる意見を受け止めながら自分の意見を深め、まとめて発言している。	目的や場、相手や課題に応じて、様々な観点から考え、思考を深め、より伝わりやすい形で書いている。	幅広く深い話題・論題の様々な文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させている。	古語、漢語など伝統的な言語文化に加え、外来語、専門用語などに対する理解を深め、語彙等を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	評論	教材:「『である』ことと『する』こと」 丸山真男	○		○	◎	○	a:民主主義についての筆者の考えを現代の社会と関連づけながら関心を持って読む。 c:段落相互の関係をふまえて，抽象的な表現をわかりやすく言い換えられる。 d:各段落の要旨をまとめ，「民主主義」についての筆者の考えを的確にとらえている。 e:文章中の逆説的な表現の内容をとらえ，それによってもたらされる表現上の効果を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
	小説	教材:赤い繭」 阿部公房	○	○	○	◎	○	a:表現を味わい想像力を働かせながら読む。 b:文学的な文章の表現の仕方について話し合える。 c:登場人物が置かれている状況（５Ｗ１Ｈ）を整理し，比喩・象徴表現を具体的に説明できる。 d:文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、「おれ」の状況を整理し，作品の寓意について考察している。 e:文章中の比喩表現の内容・効果をとらえている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査 ・話し合いの観察
	評論	教材:社会に生きる科学 池内了 (『現代評論選』より)	○		○	◎	○	a:科学と社会のかかわりについて関心を持って読む。 c:筆者が考える「科学の倫理規範」を整理して書ける。 d:段落ごとの内容をとらえ、科学が「人間を大切にする」とはどういうことか読み取れている。 e:評論特有の語彙を正しく理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
	短歌と俳句	教材:短歌と俳句	○	◎	○		○	a:情景や心情の描写を味わって読んでいる。 b:リズムや句切れ・切れ字をふまえて短歌・俳句を読んでいる。 c:作品から感じ取ることができる発想の豊かさ，構成や展開の工夫，表現の特色などをとらえ，適切な表現の仕方で鑑賞文を書いている。 e:表現上の工夫を理解し，感動の中心をとらえている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
二学期	評論	教材:「文化が違う」とは何を意味するのか？ 岡真理	○		○	◎	○	a:筆者の考えを自分の経験や現在の社会状況と照らし合わせ、関心を持って読んでいる。 c:「文化」の在り方について筆者の考えをふまえて自分の意見をまとめる。 d:「新しい普遍性」という筆者の主張について，文章中での意味を理解する。 e:「多文化主義」「覇権主義」という語の意味を理解し，筆者がどのような意図でこれらの語を用いているのかを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査

二学期	小説	教材:「舞姫」 森鷗外	○		○	◎	○	a:時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考えている。 c:主人公の考えや行動について感想を記述する。 d:主人公の考えや行動が、明治という時代と関係しているということを理解している。 e:古語辞典や古典文法を用いて読解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
	評論	教材:「近代化と世間」 阿部謹也 (『現代評論選』より)	○		○	◎	○	a:日本社会の特色についての筆者の考えを関心を持って読んでいる。 c:「世間」と「社会」について自分の意見を書ける。 d:「世間」とはどのような人間関係を持っていたかを的確にとらえている。 e:歴史に基づく評論にある語を正しく理解し、日本と西欧の公共性の相違を把握している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
三学期	評論	教材:「人はなぜ働かなくてはならないか」 小浜逸郎	○		○	◎	○	a:素朴な実感から展開されていく論旨を、しっかりと理解しつつ読んでいる。 c:論理的な文章を読んで，筆者の考えについて自分の意見をわかりやすく書けている。 d:仮説とその検証を繰り返し，説得力を持って結論へ導くという論理の展開を整理して筆者の主張をとらえ，その論理性を評価している。 e:語句の意味を的確にとらえ，その語句を用いて自分で短文をつくっている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。